

提供は
8/28
(月)まで



つがる市産メロンヒラペチーノ (750円) テイクアウト可

ひら埜

— HIRAYA —

営業11時～16時
(ラストオーダー15
時30分)、火・水・木
曜定休日(祝日の場
合は営業)・8/11～
14はお盆休み、柏
稲盛岡本54、
☎23-4883

提供は
8/31
(木)まで



メロンの郷のクリーム
ソーダ (650円)

めるしー

営業9時～20時30分(ラスト
オーダー20時)、不定休、柏上古
川八重崎37-36、☎25-2454



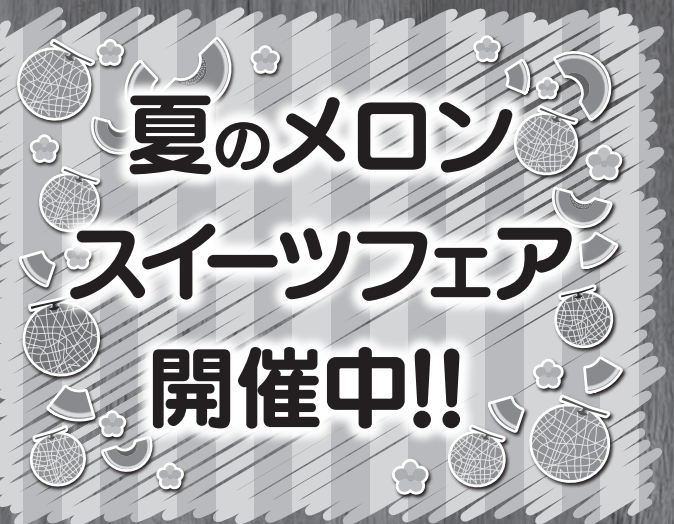
フルーツサンドメロン
(1個400円)土・日のみ提供。
テイクアウト可

提供は
8/18(金)
～20(日)

風丸食堂

営業11時～14時、
森田町山田山崎57-1、
☎090-2151-5686

メロンクリームソーダ
(550円)
テイクアウト可



昨年が続いて、今年も市アンテナショップ「果房 メロ
ンとロマン」(東京・神楽坂)の人気メニューを、市内各
店舗において期間限定でご提供。ぜひ、この機会に夏
のメロンスイーツをお楽しみください。

そば処 案山子

営業11時～16時(ラストオーダー15時)、
森田町床舞稚桜4-1 道の駅もりたアース
トップ敷地内、☎26-4225



生メロンのフルーツサンド
(1個 600円) テイクアウト可

提供は
8/20
(日)まで



メロン大福和風ミニ
パフェ (700円)

森のレストラン ライオン地球村店

営業11時～21時(ラストオーダー20時)、森田町床舞
藤山244、☎26-3007



ガパオライス (1,300円)



メロンのジェラート
フラッペ (750円)

※生メロンのフルーツサンド(1個600円)、専門店のメロ
ンクリームソーダ(700円)もあります。全商品テイクア
ウト可。

提供は
8/20
(日)まで

※価格は全て税込みです。

穂波小児童 市の業務を学ぶ

6/21
市役所

穂波小学校(千葉義幸校長)の3年生12人が、総合的な学習の時間で、市役所と伊藤鉱業アリーナつがるを見学し、市の業務内容や公共施設の役割などを学びました。

市職員に庁舎内を案内してもらった児童たちは、各部署がどんな業務を担当しているか熱心にメモを取り、市役所で働いている職員の人数(286人)や1日の利用者数(100~150人)などを質問し、理解を深めました。

成田悠真君は「つがる市は自然がいっぱいで豊かな環境があるところがいいと思った」、樋口愛莉奈さんは「体育館の2階にはランニングコースがあるので、今度走ってみたいと思った」とそれぞれ感想を話しました。



市職員に庁舎内を案内してもらった児童たち

市民の健康増進を推進していきます

6/29
市役所



サインした協定書を手にする倉光市長と梅野青森支社長

市は明治安田生命保険相互会社(永島英器執行役社長)と、健康増進に関する連携協定を締結。市の施策に、同社が保険事業や社会貢献活動等で培った知見やノウハウを活用し、健康づくりやがん対策、感染症対策などの取り組みを推進していきます。

締結式で倉光市長は「一緒に手を携えて、市民の健康増進の取り組みをもう一步前進させるためにがんばっていききたい」、同社梅野勝義青森支社長は「この協定が長きにわたり継続され、実り多きものになることを期待します」とそれぞれあいさつを述べました。

今後、同社では、市のさまざまなイベントで、最先端の機器を用いて血管年齢や野菜摂取量、骨の健康度などをチェックする健康測定会を開催する予定です。

葛西義直さん 多年にわたり地域安全活動に尽力

つがる市防犯指導隊越水支隊長を務める葛西義直さん(木造三ツ館)が、令和4年9月に全国防犯協会連合会長表彰防犯栄誉銅章を受賞。この日、倉光市長を表敬訪問し、受賞の喜びを報告しました。

葛西さんは、昭和60年4月1日に防犯指導隊に入隊。これまでメロンやスイカ、リンゴ畑の盗難防止パトロールをはじめ、飲食店の巡回などの地域安全活動に尽力し、安全で安心な街づくりに貢献したとして表彰されました。

報告を受けた倉光市長は「この受賞は大変素晴らしいこと。まちの誇りです」と称えました。

葛西さんは「名誉なことに感謝しています。これからも地域の安全のために協力し、がんばっていききたい」と喜びを語りました。

6/29
市役所



倉光市長に喜びを報告する葛西さん

犯罪や非行の防止へ理解を求めて活動

7/4
市役所前

「第73回社会を明るくする運動」メッセージ伝達式が行われました。

伝達式には、青森保護観察所野尻実所長をはじめ、つがる地区保護司会や更生保護女性会、市関係者などが出席。内閣総理大臣および県知事からのメッセージの伝達を受けた倉光市長は「誰もが安心して明るく暮らせる社会づくりに努めてまいります」とあいさつを述べました。

この後、つがる地区保護司会の会員たちは、市役所正面玄関前で啓発活動を実施し、犯罪や非行の防止と、その立ち直りを支えることへの理解を呼び掛けました。

つがる地区保護司会の吉田誠也会長は「関係機関や地域と手をつないで連携して、再犯防止の取り組みを進めていきたい」と話しました。



啓発のうちわを渡して理解を求める保護司会の会員(左)

しげた保育園園児 自衛隊基地の見学にわくわく

7/6
航空自衛隊
車力分屯基地


興味深く楽しそうに基地内を見学する園児

しげた保育園(工藤敦子園長)の年長児13人が、航空自衛隊車力分屯基地を見学し、自衛隊の仕事に触れました。

普段なかなか立ち入ることができない基地内に入ると、ペトリオット発射機をはじめ、消防車やブルドーザーなどを目の前にした園児たちは、興味津々の様子。消防車に乗せてもらってサイレンを鳴らしてみただけ、隊員が発射機を動かしたり、消防車で実際に放水してみせたりすると、大きな歓声を上げていました。

見学を終えた園児たちは「消防車に乗れて楽しかった」「かっこよかった」と目を輝かせていました。

園児の施設見学を受け入れた同基地八島康喜司令は「子どもたちの明るい笑顔に、我々も元気と勇気をもらいました」と話しました。

毎週木曜日は「タがたマルシェ」開催!

7/6
市商工会前
駐車場

木造夕市の会(尾野叶和会長)が、「タがたマルシェ」(旧夕市)を開催。若い世代の出店者も加わった会場は、大勢の買い物客でにぎわいました。

この日は、9店舗が出店し、手作りの納豆や漬物、加工品をはじめ、活シジミ、ミニトマト、キクラゲなどを販売。木造福原地区から来た乳井隆さんは「品揃えがよく、価格も手ごろ。気軽に買い物できるのでうれしい」と笑顔で話しました。

尾野会長は「スタートとしては上々。若い人が新規参入しやすい環境にしていきたい」と話しました。

タがたマルシェは、10月末まで毎週木曜日15時から16時まで市商工会前駐車場で開催(ただし8/17・24、9/21・28、10/19は休み)。9月29日(金)には十五夜セールも開催予定です。



人気を集めていた夏の味覚のジュンサイと肉厚でコリコリした食感のキクラゲ

プランター栽培のメロンを展示中 観察してみて



7/10
ダイソー
イオンモール
つがる柏店
後列左から新岡賢亮さん、高橋佑弥さん、坂本新さん
前列左から福土瑛さん、新岡祐太さん

市農村青少年クラブ連絡協議会(4Hクラブ)のメンバーが、ダイソーイオンモールつがる柏店の入口でプランター栽培のタカミメロンを10鉢展示し、買い物客たちの目を楽しませています。

今年は、新岡賢亮さん、高橋佑弥さん、坂本新さんのベテラン3人に、新たに福土瑛さんと新岡祐太さんが加わり、5人で約30鉢のメロンを栽培管理。10日に1回程度のペースで展示しているメロンを入れ替えています。

初めて栽培する2人は「それぞれの鉢の生育を揃えるため、花を咲かせるタイミングを合わせるのが難しかった。メロンに網目が入る過程を見てもらいたい」と話しました。

メロンは8月16日に地元園児たちと一緒に収穫する予定です。

秋田商店が学校給食にヤマトシジミを寄贈

有限会社秋田商店(秋田修司代表取締役)が、市にヤマトシジミ約117kgを寄贈しました。

同社では、IQF製法を用いてヤマトシジミを急速に凍結しているため、一般の冷凍に比べ、細胞の破壊が抑えられ、鮮度や旨味を逃さず、生に近い品質を維持できる特徴があります。

秋田代表取締役は「つがる市はヤマトシジミの産地であるのに、市内の学校給食で一度も提供されたことがなかったの、ぜひ市内の子どもたちに旬を迎えたヤマトシジミを味わってほしい」と話しました。

倉光市長は「学校給食に提供していただけることを本当にありがたく思っています。子どもたちはとても喜んでしょう」と感謝しました。

寄贈されたヤマトシジミは、8月中に順次、市内の全小中学校と森田養護学校の学校給食で、しじみ汁にして提供されます。



7/14
市役所
学校給食にヤマトシジミを寄贈した秋田代表取締役(中右)と同行した漁師の西巻太一さん(右)

移住への足掛かりに 移住体験ツアー実施



7/14
木造地区

設計の仕事内容について話を伺うツアーに参加した女性(左)

市が県外在住の移住希望者を対象に移住体験ツアーを実施。東京都と埼玉県に住む30～40歳代の4人が参加し、本市への移住の可能性を探りました。

本ツアーでは、参加者と事前にオンライン面談を実施。ツアー行程の一部を参加者それぞれの希望に合わせて作成し、仕事先や生活インフラなど、個々に必要な情報が得られるようにしました。

東京からツアーに参加した女性は、この日、求人募集している設計会社を訪れ、仕事内容や処遇などについて話を伺いました。「設計の仕事内容を詳しく知れてよかった。移住に一歩前進した。このツアーは、一人一人の希望に合わせたオーダーメイド型の行程になっていてすごいと思った。市が親身になって、ここまでやってくれて満足しかない」と感想を話しました。